

出雲市監査委員告示 第4号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第7項の規定に基づく財政援助団体等監査を実施しましたので、同条第9項の規定により、その結果報告書を別紙のとおり公表します。

令和6年（2024）3月27日

出雲市監査委員 神 門 三千夫
出雲市監査委員 射 場 かよ子
出雲市監査委員 寺 本 淳 一

監 査 第 2 0 7 号
令和6年(2024)3月27日

出 雲 市 議 会 議 長 様
出 雲 市 長 様

出雲市監査委員 神 門 三千夫
出雲市監査委員 射 場 かよ子
出雲市監査委員 寺 本 淳 一

令和5年度(2023)出雲市財政援助団体等監査の結果について(報告)

地方自治法第199条第7項の規定に基づく財政援助団体等監査を実施しましたので、同条第9項の規定により、その結果を報告します。

令和5年度(2023)出雲市財政援助団体等監査結果報告書

第1 監査の概要

1 監査の種類

財政援助団体等監査（地方自治法第199条第7項）

2 監査の対象

令和4年度における補助事業の運営状況、会計経理状況及び補助金交付状況等

○監査対象団体及び所管部局、監査対象補助金

出雲市職員共済会及び総務部人事課

【令和4年度出雲市職員共済会補助金】

3 監査の着眼点

〔団体側〕

(1) 補助の目的等

- ① 補助対象事業及び予算計画は適正か。
- ② 計画と実施内容が相違していないか。
- ③ 補助条件に沿って事業が履行されており、補助の効果は十分に達せられているか。

(2) 会計経理等

- ① 交付された補助金は適正に受け入れられているか。
- ② 補助対象事業は、その目的に沿って効率的かつ堅実に執行されているか。
- ③ 補助金を他に流用し又は不正に使用していないか。
- ④ 帳簿その他証拠書類は確実に整理されているか。

〔所管部局側〕

(1) 補助の決定等

- ① 法令、規則等に違反して補助していないか。
- ② 公益上必要がないと認められるものに対して補助していないか。
- ③ 社会情勢の変動等により補助の必要性が軽減しているものに対して、打切り、軽減等の措置がとられているか。

(2) 補助金額等

- ① 補助金が適正に算定され、かつ、目的からみて適正であるか。
- ② 交付の時期、概算払、前金払等の交付方法は適正であるか。

- ③ 補助対象事業の変更等に伴う補助金額の変更等は適切に行われているか。
- ④ 補助金額の確定に当たり、実績報告書等の審査は適切に行われているか。
- ⑤ 交付団体への指導監督は適切に行われているか。

4 監査の主な実施内容

出雲市監査基準に準拠したうえで、監査の着眼点に基づき、監査対象団体及び部局に対し監査調書及び関係書類の提出を求め、事務調査及び実地監査を行い、また、関係職員からの事情聴取を行った。

5 監査の実施場所及び日程

- (1) 実施場所 出雲市監査委員事務局
- (2) 日 程 令和5年11月30日から令和6年3月27日まで

6 監査を執行した監査委員名

出雲市識見監査委員 神 門 三千夫
出雲市識見監査委員 射 場 かよ子
出雲市議選監査委員 寺 本 淳 一

第2 監査対象事業の概要

1 出雲市職員共済会の概要

(1) 目的

出雲市職員（会員）の職員相互の共済（助け合い）と、職員の生活が健康で豊かなものとなるような活動（福利厚生）を行うことを目的とする。

(2) 設立

昭和28年8月1日

(3) 事業内容

出雲市職員共済会規約により、会員の福祉に関する事項、保健に関する事項、慶弔及び災害並びに退会の際の給付に関する事項、生活資金貸付に関する事項が行われている。

なお、慶弔及び災害並びに退会の際の給付、生活資金貸付に関する事業については、出雲市職員共済会補助金交付要綱により補助対象外経費となるため、会員の会費及び諸収入等をもって事業が実施されている。

(4) 組織

会長	1名	副会長	2名
常任幹事	2名	監事	2名
事務局長	1名	会員	1,625名（令和4年4月1日現在）

(5) 事業の実施状況

- ①体育活動費 2事業 参加者 159名
- ②体育奨励費 職場交流体育奨励助成金 6件、各種大会参加助成 3件
- ③文化活動費 家族レクリエーション 参加者 66名、
文化イベント入場券等助成 248枚
- ④サークル助成費 サークル・同好会活動助成 22件
- ⑤施設利用費 施設利用助成 会員一人当たり上限 8,000円 利用率 63.9%
- ⑥職場交流費（補助対象外経費） テイクアウト等共同購入費助成 利用率 80.6%
- ⑦福利事業費 人間ドック受検料助成 102名
- ⑧慶弔費（補助対象外経費） 出産祝金 59名、結婚祝金 38名
永年勤続祝金 99名
(30年勤続：69名、20年勤続：30名)
療養見舞金 15名、弔慰金 38名
葬祭費 1名、銀婚祝金 34名
- ⑨災害給付（補助対象外経費） 該当なし
- ⑩退職餞別（補助対象外経費） 59名

(6) 令和4年度補助事業決算書

令和4年度 出雲市職員共済会（一般会計） 収支決算書

1. 収入

(単位：円)

科 目	R 4 決算額	収入		特記事項
		雇用主からの収入	共済会独自の収入	
1. 負担金	30,625,359	11,493,872	19,131,487	
(1) 会費	19,131,487	0	19,131,487	
(2) 雇用主負担金	11,493,872	11,493,872	0	総会員数：1,625人
出雲市	9,364,855	9,364,855	0	会員数：1,324人分
出雲市病院事業	1,414,630	1,414,630	0	会員数：200人分
出雲市水道事業	360,730	360,730	0	会員数：51人分
出雲市下水道事業	332,438	332,438	0	会員数：47人分
出雲市職員連合労働組合	14,146	14,146	0	会員数：2人分
出雲市職員共済会	7,073	7,073	0	会員数：1人分
2. 諸収入	3,797,077	0	3,797,077	
(1) 生命保険料等の団体取扱手数料	3,779,403	0	3,779,403	
(2) 返還金	17,594	0	17,594	
(3) その他収入	80	0	80	
3. 寄附金	0	0	0	
4. 繰越金	2,919,059	0	2,919,059	
合 計	37,341,495	11,493,872	25,847,623	

2. 支出

(単位：円)

科 目	R 4 決算額	支出		特記事項
		雇用主負担分	共済会負担分	
1. 共済費	29,776,248	8,521,381	21,254,867	
(1) 厚生費	11,986,488	5,332,641	6,653,847	
① 厚生用品費	148,247	74,123	74,124	1/2雇用主負担
② 体育活動費	397,640	192,655	204,985	1/2雇用主負担
③ 体育奨励費	170,250	85,125	85,125	1/2雇用主負担
④ 文化活動費	517,017	258,508	258,509	1/2雇用主負担
⑤ サークル助成費	982,200	491,100	491,100	1/2雇用主負担
⑥ 施設利用費	8,462,260	4,231,130	4,231,130	1/2雇用主負担
⑦ 職場交流費	1,308,874	0	1,308,874	
(2) 福利事業費（人間ドック助成）	3,188,740	3,188,740	0	島根県市町村職員共済組合が規定する個人負担額を除いた額
(3) 慶弔費	12,261,300	0	12,261,300	
① 出産祝金	2,950,000	0	2,950,000	
② 結婚祝金	2,920,000	0	2,920,000	
③ 永年勤続祝金	4,350,000	0	4,350,000	
④ 療養見舞金	185,000	0	185,000	
⑤ 弔慰金	1,000,000	0	1,000,000	
⑥ 葬祭費	176,300	0	176,300	
⑦ 銀婚祝金	680,000	0	680,000	
(4) 災害給付	0	0	0	
(5) 退職金別	2,339,720	0	2,339,720	
2. 事務局費	5,652,055	2,822,491	2,829,564	
(1) 人件費	5,150,671	2,571,799	2,578,872	1/2雇用主負担
(2) 事務費	501,384	250,692	250,692	1/2雇用主負担
3. 繰出金	300,000	150,000	150,000	
(1) 共済会事業基金会計	0	0	0	
(2) 職員退職金会計	0	0	0	
(3) 公務災害見舞金会計	0	0	0	
(4) 会員アルバム作成事業会計	300,000	150,000	150,000	1/2雇用主負担
4. 公租公課	81,000	0	81,000	
(1) 県法人事業税	0	0	0	
(2) 法人税	81,000	0	81,000	
5. 予備費	0	0	0	
合 計	35,809,303	11,493,872	24,315,431	

3. 収支差引

1,532,192円

2 出雲市職員共済会補助金の概要

(1) 出雲市職員共済会補助金の交付根拠及び目的

- ①根拠法令：出雲市職員共済会補助金交付要綱（平成 24 年出雲市告示第 129 号）
- ②交付目的：出雲市職員の健康増進及び元気回復その他福利厚生の充実を目的として、出雲市職員共済会に対し補助金を交付する。

(2) 補助金の交付申請・決定に関する事項

- ①交付申請日 令和 4 年 4 月 1 日
- ②交付申請額 9,500,000 円
- ③交付決定額 9,500,000 円（当該補助金の予算額 9,500,000 円）

(3) 補助金の変更交付申請・決定に関する事項

- ①変更交付申請日 令和 5 年 3 月 31 日
- ②変更交付申請額 9,364,855 円
- ③変更交付決定額 9,364,855 円

(4) 補助金の実績報告・確定に関する事項

- ①実績報告日 令和 5 年 3 月 31 日
- ②交付確定額 9,364,855 円

※出雲市職員共済会補助金交付要綱第 2 条に定められた補助基準に従って補助金の額が算定され、予算の範囲内で交付されていることを確認した。

第 3 監査の結果

1 指摘事項

今回の監査の範囲において、指摘する事項は認められなかった。

2 注意事項

今回の監査の範囲において、注意する事項は認められなかった。

※指摘事項

速やかに是正又は改善等を要する事項で、次に該当するものである。なお、指摘事項は、法に基づき報告及び公表をするものであり、適時措置状況の報告をするよう求める。

- 1 法令（条例、規則その他の例規を含む。）に違反したもの又は不当なもので、重大なもの
- 2 著しく妥当性を欠くもの
- 3 著しく不経済又は非効率なもの

※注意事項

指摘に至らない比較的軽易なもの

第4 監査の結果に基づく監査意見

今回の監査において、改善、検討が必要と考えられる事案が見受けられたので、以下のとおり、監査の結果に基づく意見を付すこととする。

1 出雲市職員共済会の各種事業・助成について

今回の監査では、出雲市職員共済会が、市職員（会員）の生活が健康で豊かなものとなるような福利厚生を行うことを目的とし、各種事業や助成を工夫しながら実施されていることを確認できた。

会員の活動に対する助成メニューのうち、職場交流体育奨励助成はコロナ禍の影響もあって助成件数は一旦減少したが、新型コロナウイルス感染症の5類移行後は件数が増加したとのことであった。しかし、件数が増加してきているとは言え、全職場数に対してごくわずかの職場しか活動を実施していない傾向にある。職場内での意思疎通や職員同士のつながりにも大きく寄与する事業だと評価するが、助成件数増に向け、実施事例を全庁に紹介するなど、積極的に会員に周知していただきたい。

また、施設利用助成については、ここ数年にわたり新たな利用施設の追加など、利用促進につながる取組ができていなかったため、全会員にアンケート調査を実施し、アウトソーシング型の事業の導入を検討されているとのことであった。全ての会員にとって使いやすく、利用機会が平等に与えられることで、利用者数が増加するような事業に変わることを期待したい。

さらに、人間ドック受検助成に関しては、受検希望者に対して受検枠が不足しているのではないかと考えられる。一度、受検希望者の総数を調査してみるなど実態を把握したうえで、島根県市町村職員共済組合の受検枠を考慮しながら、職員共済会の受検枠増について検討していただきたい。各種事業については、来年度に見直しをする予定とのことであるが、その中では、経費の節減にも留意しつつ、それぞれの事業が会員の希望に沿うような見直しとなるようにしていただきたい。

2 定年延長制度を見据えた福利厚生事業について

定年延長制度が始まり、会員の年齢構成や働き方が変化する段階を迎えているほか、会員自らの健康意識の高まりなど、福利厚生事業へのニーズはますます多様化すると考えられる。時代の変化に応じた福利厚生事業のあるべき姿を描きつつ、全ての年代の会員が安心して働けるよう、今後も事業の評価と改善を繰り返すことで時代のニーズに沿った事業を展開していただきたい。

3 むすび

近年、頻発する大規模災害や新型コロナウイルス感染症などへの対応に当たり、職員は市民の期待に応えるべく、事務事業について迅速に成果を挙げていく必要性に迫られて来た。そのため、職員はさまざまなストレスと向き合い、メンタル不調での休職者数が高止まり傾向にあるとのことであった。このような時こそ、地方公務員法第42条の規定に基づく福利厚生施策を適切に実施し、職員の心身の健康を保持することの重要性

が一段と高まってくるのではないかと考える。職員がその能力を十分に発揮し、いきいきと職務に専念できる環境を維持するためにも、今後も効率的かつ効果的な福利厚生施策を実施していただきたい。

全ての職員の勤務意欲の向上及びワーク・ライフ・バランスが実現し、ひいては市民に対して良質な行政サービスが提供されることを期待する。